

開運大摩利支天閣 最上稲荷庭瀬支院 覚如山本了院

妙法華寺便り

令和3年6号

◇ 行事報告 ◇

5月18日（火）摩利支天月例祭

新型コロナウイルスの感染が拡大しているため、岡山でも5月16（火）から非常事態宣言が発令されました。これを受けて5月の摩利支天月例祭は僧侶のみで開催させて頂きました。

昨年につき2回目の非常事態宣言です。新型コロナウイルスの変異した株が猛威を振るっている状況では仕方の無いことだと思います。また、同時にワクチンの接種も始まりました。岡山県の接種率は全国で二番目に多いそうです。早く行き渡り安心して過ごせる日が来るよう祈念する毎日です。

6月9日（水）は岡山県宗務所主催による日蓮聖人降誕800年の慶讃法要が太然寺（大野宗務所長のお寺です）にて人数を制限して行われました。

翌日は、修法師会主催でのコロナ撲滅祈願会を協賛寺院で行って下さいとのお願いがあり、妙法華寺では一日前の9日に本堂で住職と岡嶋上人とで執り行い、感染拡大の早期終息と罹患者の早期回復を祈念させて頂きました。



6月9日 コロナ撲滅祈願会

さて、昨年6月にお話させていただきました法華経14番目の安樂行品について、今一度お伝えさせて頂きます。

当寺は、「安樂行品」の石碑（満願成就日蓮大菩薩像の北側）を受けたお寺です。コロナ禍では安穩に過ごす事が難しくなり、イライラする事が多くなってくるようです。この安樂行品の「安」は安らか（色々な事に惑わされない・心安らか）、「樂」は自ら願っての

意味となり、現代の「心身の苦痛や生活の苦労がなく、楽々としていること」とは異なっています。そこには『いかなる困難に遭遇しようとも、いかなる苦境に立たされようとも、いつも安らかな心で、自ら願って真理の道を歩む。』という仏の道の心構えが説かれています。

自分に都合が悪いことが続いても、決して腹を立てたり恨んだりしない、自分に損害や侮辱を与えるような相手に対しても、怒りや恨みを覚えたりしない、かえって何とか救ってあげたいという気持ちを起こすことです。このような気持ちにはなかなかないと思います。

お寺の境内の紫陽花が今年も咲いてくれました。今年は、一つの株からピンク、紫、青、白など色とりどり花が咲きました。良いこともあれば悪いこともある、色々な事が起こる、そんな様子を見せてくれているのかと思いながら、可愛らしい花を見て穏やかな気持ちになります。先ずは笑顔で日々過ごせるようになりたいですね。

◇ 行事案内 ◇

摩利支天月例祭

※7月の18日（日）は予定を変更して7月21日（水）に執行いたします。

宜しく申し上げます。

8月は定例通り8月18日（水）、9月18日（土）午前10時より執行いたします。当山では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本堂入り口にアルコール液を用意し、広い間隔での着座をお願いしています。

◎ お盆棚経のご案内

7月に入りましたら、お盆棚経のご連絡をさせていただきますので、宜しく申し上げます。

◇ 近況 ◇

今年も紫陽花の花開し、心を和ませてくれました。



皆様、引き続き、手洗い・うがいを励行して、お体ご自愛のうえお過ごし下さい。合 掌